

山口地方裁判所における 裁判員経験者の意見交換会開催概要 (令和4年10月28日(金)実施)

裁判員経験者にお越しいただき、裁判官、検察官、弁護士も交えて、ご感想や審理の分かりやすさ、これから裁判員になる方へのメッセージなどを伺いました。



Aさん

- ・量刑を決めるときに、その刑に決めた理由をまとめることに苦労しました。
- ・評議での考え方は、会社や自治会で物事を決めるときの段取りと同じだと思います。問題を解決するために定まった方法があり、それに自分の考えをあてはめて結論を出すという経験は、経済を担っている3、40代の方々にはよい経験になると思いますので、ぜひ参加していただきたいと思います。

Bさん

- ・審理のときに日常的に使わない言葉で説明されたため、分かりづらいことがありました。もっと身近な言葉で話してほしいです。
- ・参加することによる負担感はありませんでした。むしろ他人のことを自分のことのように考えることができ、充実した時間を過ごすことができました。私は80代ですが、同じ年代の人が選ばれたらぜひ参加していただきたいと思います。

Cさん

- ・裁判員制度が始まった当初から、機会があればぜひ参加したいと思っており、特別休暇を取得して参加しました。和やかに仲間意識をもって進行することができましたし、人間としての倫理観というものを深く考えて過ごした時間でした。
- ・検察官、弁護人双方の意見を聞き、自分なりに考えて結論を出すことができました。
- ・貴重な経験になりますので、参加していただきたいと思います。

司会裁判官からひとこと

裁判員をされていたときの熱気そのままに、忌憚ないご意見とこれから裁判員になられる方に前向きなメッセージをいただき、感謝しております。今回いただいた御意見を活かして、今後も裁判員の方と活発に意見交換をすることができる裁判を目指していきたいと考えております。

